

連携 場面	共通	日常の療養支援	入退院支援	急変時の対応	看取り	認知症への取組	感染症発生時・ 災害時の対応
目 指 す べ き 姿	継続的な PDCAサイクルの 取組	医療・介護関係者の多職種協働により、本人・家族の療 養生活を支援することで、住み慣れた場所で安心して生活 できるようにする。	入退院の際に、医療機関・介護事業 所等が協働・情報共有することで、一 体的でスムーズな医療・介護サービスが 提供され、本人が希望する場所で望む 日常生活が過ごせるようにする。	医療・介護・消防（救急）が 円滑に連携することにより、急変 時にも本人の意思も尊重された 対応を踏まえた、適切な対応が 行われるようにする。	医療・介護関係者が、本人と人生の最終段階における意 思を共有し実現することで、本人の住み慣れた地域、望む 場所で安心して人生最期まで暮らすことができるようにす る。	認知症の人を支援する医療や介護の専門職の連 携強化により、本人の尊厳が守られ、安心して生 活できるようにする。	災害・救急時の対応等で医療と 介護の連携が図られる。
連 携 に 係 る 課 題	在宅医療・介護連 携に関する会議 での協議	職種間の連携が進んでいない場面がある。 ACPを行っていないケースがある。	病院と在宅との情報共有が不十分な 場面がある。	急変時の対応の流れが支援者 間で共有できていない場面があ る。	多職種間で医療情報の共有が不十分 ACPを行っていないケースがある。 身寄りのない高齢者の看取り支援について	認知症の疑いの時期から診断までの間の支援につ ながっていない「空白の期間」及び、診断されて介 護保険サービスなどにつながるまでの支援につながつ ていない「空白の期間」への対応ができていない。	災害・救急時の対応等で医療と 介護の連携をどのように図っていく のかについて協議がされていない。
R 7 年 度 の 取 組	年3回開催	○ 専門職を対象とした研修会の実施 ① 9月27日（土）14時～17時 「ACPに基づいた意思決定支援を考える」 基調講演 講師： 一般社団法人 日本アドバンス・ケア・プランニング研究会 代表理事 医療法人社団 オレンジ 理事長 紅谷 浩之 氏 ② 10月16日（日）9時30分～12時30分 薬剤師とケアマネジャーとの研修会 講師未定 ○ 高齢者支援に関わる栄養士との意見交換会 日時、テーマ未定	○ MSW等と多職種との連携 12月 MSW等地域連携会議の開催 日時、テーマ未定	○ 救急医療情報キットの 配布	○ 専門職を対象とした研修会(再掲) 9月27日（土）14時～17時 「ACPに基づいた意思決定支援を考える」 基調講演 講師： 一般社団法人 日本アドバンス・ケア・プランニング研究 会 代表理事 医療法人社団 オレンジ 理事長 紅谷 浩之 氏 ○ 市民を対象とした在宅医療講座 11月27日（木）□ 「本人の意思を尊重した在宅療養支援と多職種連携」 講師： のへクリニック 院長 三戸 順子 氏 セントケア訪問看護ステーション市川 田島タ子氏 はちまん薬局 川田裕隆 氏 ケアマネジャー ○○氏 ○ 私のリビングウィルの普及	○ 市民を対象とした講演会 10月24日（金）13時～15時30分 「認知症と共に生きる ～新しい認知症観を知ろう～」 講師： ちばオレンジ大使 布川佐登美 氏 認知症疾患医療センター 袖ヶ浦さつき台病院 センター長 細井尚人 氏 ○ 認知症地域支援推進員の活動を通じて 「きょう いところ」等の社会参加活動の場の周知 ○ 認知症本人ミーティング（仲間と話そう）開催 ○ 認知症ピアサポート活動の実施	○ 専門職を対象とした研修会 （市川市医師会共催） 3月14日（土）14時～16時 「災害時における多職種連携」 講師： 金沢医科大学 救急医学講座 特任教授 秋富 慎司 氏